



～ミッドランド市体験記～

半田高校2年 宮原 芽生

Saginaw空港に到着し、ホストファミリーから「ハグしてもいい？」と話しかけてもらったあの瞬間から、もう一度あの3週間を始めたいと思うくらいとても楽しく充実した派遣でした。

応募した一番の理由はアメリカに行ってみたいという憧れでした。アメリカの生活を体験してみたい、あわよくば英語が上達したらいいなと思っていました。けれど派遣が決まってからいろいろなことが不安になりました。



私の英語力で会話ができるのか、ホストファミリーとうまくやっていけるのか。案の定、私の英語力は足りていませんでした。

最初は英語が聞き取れず、返答に困ることもありました。けれど、ホストファミリーがゆっくりと話してくれたので、少しずつ理解できるようになりました。問題は私が話す時でした。ホストファミリーも理解に苦しんでいる様子で申し訳ない気持ちでした。それでも、話し続けないと上達しないだろうと思い直し、できるだけコミュニケーションをとるようにしました。相手も頑張っけて聞き取ろうとしてくれたので、安心して話すことが出来ました。その結果、1週間後には会話がスムーズに行えることも増えてきました。

相手の言いたいことが理解できて、私の言いたいことが相手に伝わると、会話はすごく楽しくなりました。ドライブ中や、お買い物中、ハイキング中の会話がとても印象に残っています。好きな映画や音楽、動物の鳴きまねの話、家族や友達の話、コロナの間どう過ごしていたかなど様々な話をしました。

言語は違っても、気持ちは伝わることを身をもって感じる事が出来た瞬間でした。優しく接してくれたホストファミリーには感謝しかありません。

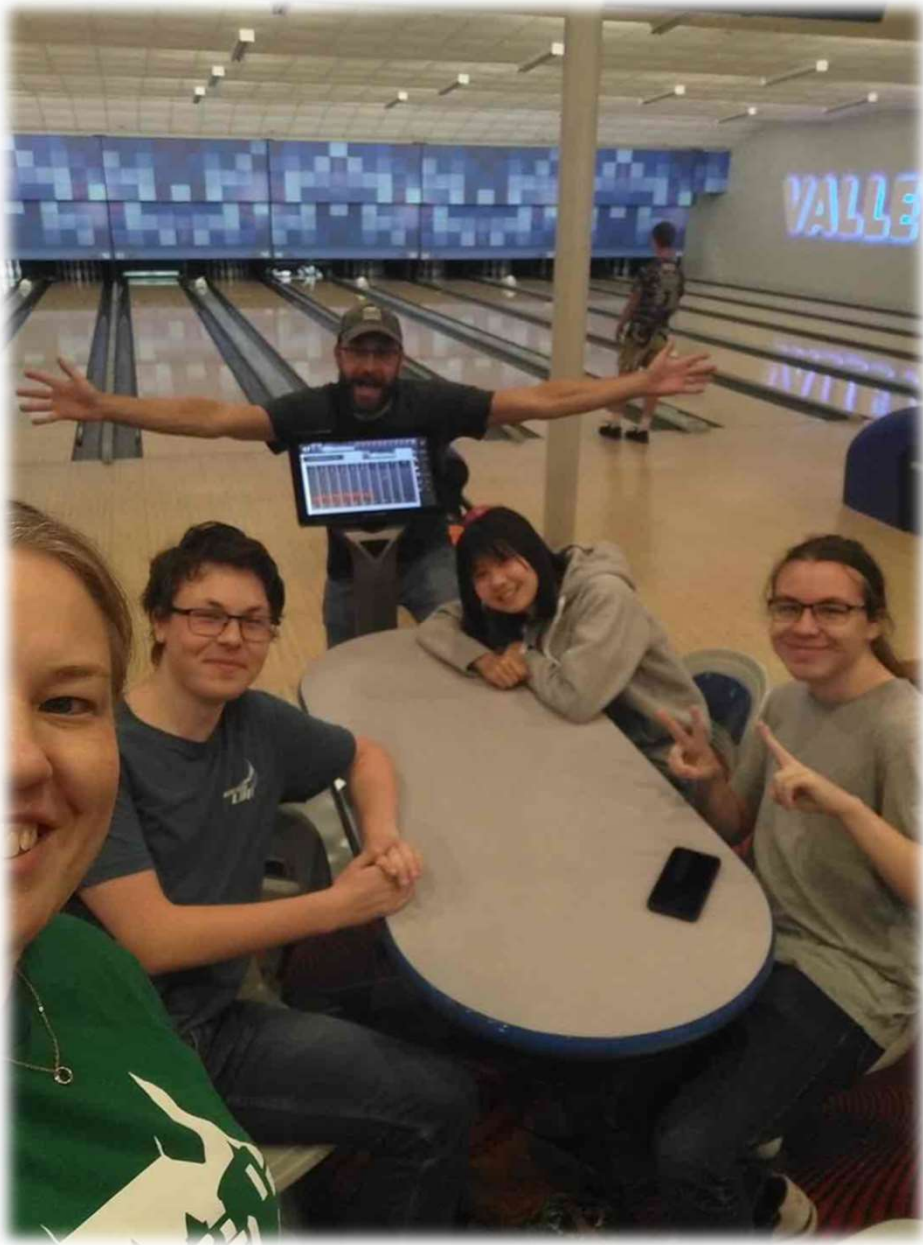
楽しく印象に残っていることは、会話だけではありません。ミッドランド市が位置するミシガン州は五大湖と接しており、その他にもたくさんの小さな湖があります。ホストファミリーの持つレイクハウスに連れて行ってもらい、湖で泳いだり、カヤック、チュービングをしたことがとても楽しかったです。湖の水はとてもきれいで、温かく、気持ちがよかったです。





野生のリスや鹿が見られる自然が豊かなミッドランド市では、その中で人々が楽しみながら過ごしていることがとても印象的でした。夏はカヤックや森でジョギング、冬はクロスカントリースキーをして楽しむと聞きました。私もいつかそんな生活をしてみたいなあと思いました。

何度も食べたハンバーガー、ホットドッグ、ピザ、アイスクリーム。庭で調理したステーキとBBQは本当に美味しかったです。お祭りで見えた気球。子ども達と追いかけた蛍。披露して喜んでもらえた習字と不評だったお好み焼き。近所に住む同世代の女の子たちとテニスやお喋りをしたのもとても楽しかったです。彼女たちは皆、車を運転し、日常的にボランティアやアルバイトをしていて、大人びて見えました。羨ましいなと思う反面、全てが自己責任の世界であることを感じました。



私はこの3週間でたくさんの素敵な人と出会えました。アメリカの生活を知る中で日本の良いところに気付くこともありました。またいろいろな国へ行って、その地域の文化を体験したいと思うようになりました。文化の違いや様々な人がいることを知って、多くの考え方があることを受け入れられる人になりたいです。